

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
な か ま 編 集 係

〒285-0025
佐倉市 錦木町 198-3
電話 (043) 485-1801

2 ページ	佐倉城址公園の桜案内	高木千枝子	再会	坪井栄子
3 ページ	テリア君	渡邊麻美	上野公園	矢島とも

落語を聴こう

永見 一

今から九十年位前までは、落語を聴きたいと思つたら寄席へ出かけるしか手だてがなかった。その後開始されたラジオ放送の果した役割には多大なものがあった。二十一世紀をむかえた今日わざわざ寄席へ出かけなくても、ラジオ、テレビに加えて、テープ、CD、MD、ビデオ、レーザーディスクと落語にふれる方法はいくらでもあつて、むしろ木戸銭を払って寄席の客席で落語を聴く人よりも、ずっと多くの人達を楽しませてくれているはずだ。

今から九十年位前までは、落語を聴きたいと思つたら寄席へ出かけるしか手だてがなかった。その後開始されたラジオ放送の果した役割には多大なものがあった。二十一世紀をむかえた今日わざわざ寄席へ出かけなくても、ラジオ、テレビに加えて、テープ、CD、MD、ビデオ、レーザーディスクと落語にふれる方法はいくらでもあつて、むしろ木戸銭を払って寄席の客席で落語を聴く人よりも、ずっと多くの人達を楽しませてくれているはずだ。

口承芸である落語には台本がなく、噺の中身は千差万別、噺に入る前のまくら（導入部）本文（展開部）落ち（終結部）から構成され、登場するのは江戸時代の庶民から武士、大名、花魁など人間だけではなく、タヌキ、犬など動物、幽霊や死神など多岐にわたり、よく登場する熊さん、八つつあん、横町の物知りご隠居、与太郎、しつかり者のおかみさん、勘当される道楽息子の若旦那。お座敷で活躍する幫間、調子がいいが悲惨な目に遭わされることが多い。

世間知らずの大名赤井御門守、用人田中三太夫等々。噺の中に登場する人物は我々の反面教師。

石油にも、コンピュータにも関わりのない今日の豊かさや違つた、現行憲法の前文が保障している「健康で文化的な最低限度の生活」を江戸の庶民は存分に楽しんでいたのである。

（編集委員）

佐倉城址公園の

桜案内

城址公園の桜と出会い、品種の多さと美しさに魅せられて、調査観察を続けるうちに、七年の歳月が過ぎ去った。

本丸を中心に、千本以上五十品種の桜が四月中旬まで次々と咲き長期間楽しめます。

春一番に咲くのは寒桜、まだ肌寒い二月の初旬、もう咲き始めたかと気になる私です。

染井吉野より早く咲くのは殆ど一重咲き、花弁の色、大きさ、形にも人と同じでそれぞれ個性がある。淡紅色の大寒桜は透明感があり美しい。

桜まつりの喧騒と共に染井吉野の時期が過ぎ、待っていたかのように八重桜が次々と花開く。清楚、豊麗、あな

んといとおし花々よ。
一葉、白妙、福祿寿、朱雀、高砂、鬱金、松月と花の名前も優雅で魅力的。普賢菩薩が乗る白象を連想し

名付けたと言う。

二段咲きの珍しい雛菊桜と妹背、遅咲きは兼六園菊桜。

品種の特定には図鑑と首っ引きで、行き詰まると桜を植える会会員と(財)日本花の会結城農場へ通い確認。五十品種まで調べ上げた。結果が観光協会「さくらまつぷ」への情報提供となり、既に五版が発行されてきた。一つ一つの積み重ねがマップから冊子へと発展した。

撮り溜めた千枚以上の写真から選び、解説文は多くの文献を読み、現物観察をして練り直し執筆した。会員との共同作業で、城址公園「さくらガイド」として完成し図書館、公民館、公共施設等に配布。

数々の喜びと感動を与えてくれた城址公園の桜たち、ありがとう。そして多くの人々に桜情報を伝えたい。

さまざまの事思ひ出す桜かな

芭蕉

(大蛇町 高木千枝子)

再会

年賀状の中に余りにも懐かしい人からのものがあつた。彼の達筆は相変わらずで、記憶は一気に半世紀を飛び越え

やって来た。二句の俳句と懐かしく思い出しますという文面だけのもの。一句目はすぐに自作のものと覚えがあつた

が、二句目は彼の達筆の為に、最初の二文字が片仮名か漢字か見当がつかず、パット意味がとれなかつた事と、そのう

え恥ずかしくも最後の漢字も、達筆の為とはいえ読めなかつた。彼は私のと誰かの句を勘違いしてるのではないかとさえ疑つたが、辞書を見たらサツと霧が晴れた。確かにそれは私の句だつた。

年賀状の差出し人は高校の同級生で、彼は当時から校内外の仲間と同人誌を出している事で知られていた。通学電車が一緒だつた彼に、同人誌に誘われたのは卒業後、私が俳句をしている事を知られて

のことだつた。しかし彼を始めとして同人誌に小説を出す人が大半で、会合もその人達のデスカッションが私にはハイレベルだと感じているうちに、私が先に辞めてしまったのか、同人誌が廃刊になつたのが先か遠い青春時代の事は今や曖昧となつてしまつた。

先程のいわく付きの句が自作であつた事も漢字も忘れるとは、情無いばかりだが自作のものとはわかつた瞬間、作つた時の感覚は鮮明にもどつた。

終戦後、疎開先の父の出身の村での生活は、いつも物陰でこっそり泣いている母の記憶が多い。そこを脱出出来る事となつた春先、十歳の私も遊びの行為の中に、万感を込めるものがあつたのだ。

年賀状ではカトとあつたが実は蛸と書き、おたまじゃくしの事で季語である。彼が届けてくれた、熱い思いで作つた句と再会。

蛸散らし村去る時の石礫

(新白井田 坪井栄子)

テリア君



最近、常に思う。

かわいらしい色とりどりの、
服を着た子犬達。

ほこらし気に、前足を上げて、
また多少かたまりながら
歩いている。

その仕草が、また愛らしい。
くりくりと飼い主さんを、
見上げながら、トコトコと歩
く。

リードの色も、とりどりで、
なんだかりボンみたいだ。

昨日も、散歩中に、かわい
らしいボアのジャケットを、
着ているテリア君にあった。

服の色からして、たぶん男
の子と思われる。

小さい体で、飼い主さんを
チョンチョンひっぱって、信
号を歩いてくる。

足が、かわいらしく動いて
いて、こちらに鼻もむけてく
れない。

きつとプライドの高い子な
のだろう。

彼と、飼い主さんの姿を見

ていると、まるでお孫さんを
連れてくるようで微笑まし

テリア君が、立ちどまって
こちらを見ている。

やれやれ、やっと気づいて
くれたか。

テリア君は、ちょっとばか
り尾をふって、また歩いてい
った。

きつと、愛しているのだら
うな。

二人の後ろ姿が和んでいて
見送るだけで、ほつといやさ
れる。

一時の、いやしをありがと
う。

テリア君、君のお名前は、
なんというの？

きつと、君の尾っぱだけが
知っているのだろう。
ちいさな冬の昼下がり。

(鍋木町 渡邊麻美)



上野公園

上野という地名は、低野に
対して丘の上の野だからつい
たという。

江戸を開府した家康は、僧
天海に徳川の祈禱寺(東叡山
寛永寺)を作らせた。上野を
京に見立て、東の比叡山だか
ら東叡山、寛永年間だから寛
永寺、伽藍や堂塔は根本中堂
や五重塔など多数、清水の舞
台(清水観音堂)もつくった。
不忍池は琵琶湖で、弁天堂は
竹生島をなぞらえたもの。こ
こまで京都に対抗したのはち
よつと滑稽に思える。寺域は
今の上野公園の倍ほどにもな
った。

花の雲鐘は上野か浅草か

家光が吉野の桜を植えてか
ら上野は花の名所となつて今
に続く。

幕末江戸城明渡しに不満の
幕臣たちが彰義隊を結成し寛
永寺に立てこもつたが、官軍
に半日で破れた。上野の山は

焼き払われ、見せしめに彰義
隊士の死体は捨て置かれた。
見かねて葬る者達あり、跡に
は小さな墓標が建てられた。
時代は変わったし、世間では
彰義隊のことはしばらくご法
度だったという。

荒廃した上野を公園にした
のはボードワンというオラン
ダ人医師である。没収されて
いた寛永寺もある程度返され
た。いまの噴水周辺を竹の台
という。明治一〇年第一回内
国博覧会が開かれて活況を呈
したのを皮切りに、竹の台周
辺には博物館、美術館、動物
園、大学等が作られ、日本学
術、文化の中心となった。上
野がよみがえつた。面白いの
は不忍池の周りで競馬が行わ
れたり、遊園地になつてウォ
ーターシュートがあつたりし
たこと。

今の上野に落ち着くまでい
ろいろの変遷があつたようです。
(上志津原 矢島とも)

4月の黒板

『なかま』の原稿を募集しています！

『なかま』の2ページと3ページは佐倉市民の皆さんから投稿いた

だいた記事を掲載しております。

『なかま』の原稿は、自由テーマを原則としています。「出会いと別れ」、「旅の思い出」、「祭り」、「私のふるさと」、「私の健康法」など何でも構いません。また、日常での出来事で発見したこと、気付いたこと、経験や感想などもご随意にお書きください。

原稿の字数は、650字（13字×50行）以内です。また、掲載するにあたり常用漢字への変更や、句読点等修正させていただくことがあります。

問い合わせ先

佐倉市立中央公民館 TEL 043 - 485 - 1801

〒285 - 0025 佐倉市錦木町198 - 3

さくら道



四月は恒例の佐倉チューリップまつりのシーズン。印旛沼の畔のふるさと広場に色とりどりのチューリップが咲き誇り、訪れる大勢の観光客の目を楽しませてくれます。

オランダの国花であるチューリップは、トルコやイランの小アジア一帯がもととの原産地。チューリップの語源はトルコ語のトリパン、花の

形が回教徒の男性の頭につけるターバンに似ているところから名づけられました。

十六世紀中頃にトルコからウィーンを経てオランダに持ち込まれ栽培されましたが、我が国へは文久年間（一八六一〜六三）フランスから輸入されたといわれています。

チューリップの花言葉が博愛、ふるさと広場のオランダ風車の愛称リーフデ（友愛）ともども平和都市宣言をした佐倉市に相応しい言葉です。

（金井義彰）

あとがき

第十五期生の皆さん、卒業おめでとうございます。

二月十三日、佐倉市民カレッジの卒業式が挙行された。朝から小雪がばらつく生憎の天気だったが、会場の中は暖房が程よく利いて、最高の雰囲気にも包まれていた。

オープニングにおける、佐倉市民カレッジコーラスの果たした役割は大きかった。素晴らしい合唱が式典に華を添え

る形となり、一気にムードが盛り上がったからである。

さらに印象的であったのは、卒業証書を授与された時の、一人ひとりの表情である。全員顔が光り輝いていて、眩しく大きな姿に見えた。そして、今日は単なる通過点であり、これから楽しい生涯学習は続くんだと、語っているようにも見えた。

正にこの姿こそ、四年間の勉学の集大成の姿なのかも知れない。

（鵜木聖次）